回 覧

いずみ野線Ａ駅（秋葉台公園東側付近）周辺 まちづくりニュース

～いずみ野線延伸に向けた状況や地域のまちづくりについての情報発信～

2026 年(令和 8 年)3 月発行

＜発行・編集＞
藤沢市都市計画課
・電 話 ： 0466-50-3537
・ＦＡＸ ： 0466-50-8223
・電子メール ：
fj-tosikei@city.fujisawa.lg.jp

Topics

1） Ｂ駅周辺の健康と文化の森のまちづくりについて
2） いずみ野線延伸に向けた取組について
① BRT の機能強化
② 新幹線新駅誘致

1）Ｂ駅周辺の健康と文化の森のまちづくりについて

①藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理事業

Ｂ駅周辺の健康と文化の森地区は、本市の都市拠点の１つ「学術文化新産業拠点」であり、いずみ野線延伸計画を見据えながら、都市拠点形成に向けた取組を進めています。

2024 年（令和６年）３月に、市街化区域への編入及び土地区画整理組合の設立認可がされたことから、地権者組織である「藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理組合」による土地区画整理事業を進めています。

名　　称	藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理事業
事業の方法	組合施行による土地区画整理事業 施行者：土地区画整理組合
施行面積	約36ha
組合員数	約300人
施行期間	2024年3月29日～2034年3月31日

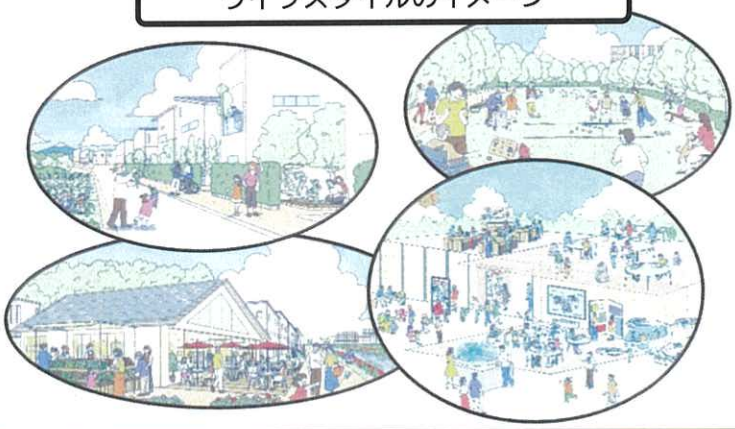
②健康と文化の森地区まちづくりガイドライン

「健康と文化の森地区まちづくりガイドライン」とは、まちづくりの誘導方針を示すもので、関係者間で地区の将来像を共有し、その実現に向けてまちづくりを適切に誘導する指針となるものです。

今後、いずみ野線の新駅設置が具体化した際など、まちを取り巻く状況が変化した際は、柔軟に更新を図るものとなります。

現在、ガイドラインの策定に向け、素案をとりまとめており、今後、地域への説明会やパブリックコメントを実施する予定です。

ライフスタイルのイメージ



2）いずみ野線延伸の取組状況について

①BRT※の機能強化

（※湘南台駅～慶応大学間で急行運転を行っている連節バス）

いずみ野線延伸の需要創出につながる取り組みとして、藤沢市では、県道 410 号（湘南台大神伊勢原） で運行されている連節バスの機能強化を検討していますが、湘南台高校入口交差点から菖蒲沢境交差点までの約 1.9ｋｍ が４車線化されていないことなどから、朝夕を中心に道路が混雑しており、遅延が生じています。そこで神奈川県は、湘南台高校入口交差点から菖蒲沢境交差点までの４車線化に取り組み、交通渋滞の緩和や藤沢市北部 地域における東西方向の道路ネットワークの強化に取り組んでいます。

出典：神奈川県ホームページ

運行されている連節バス車両

BRT 機能強化により、**輸送力増強、定時性向上、速達性向上**といったメリットが期待されます。加えて、**快適性向上**についても検討を進め、単に目的地への移動を早めるだけでなく、待つ時間も、乗っている時間も、皆様が心地よく過ごせる交通システムの実現に向け、関係機関と連携しながら取り組んで行く予定です。この検討は将来的ないずみ野線の需要にも繋がることを目指し取り組んでいます。

②新幹線新駅誘致

いずみ野線の延伸、東海道新幹線の新駅設置及びリニア中央新幹線の開業は県央・湘南地域と横浜都心方面、さらには新幹線で全国とを結ぶ新たな交通軸が形成され、県内全体の交通ネットワークがより強固になります。リニア中央新幹線については、本格的な土木工事が進展しています。

～知っていますか？クルマと公共交通～

みなさんの移動を考えるきっかけづくりとして、クルマを利用した時と公共交通を利用した時について、客観的に比較したデータを紹介します。クルマは便利な乗り物ですが、「もしかしたら公共交通でいけるかも…」という時に、１年に１回でも公共交通の利用を考えていただきたいと思っています。

“交通事故” クルマには事故のリスクがありますが、事故の確率はどのくらいなのでしょうか？

免許を保有している間（50 年間）に事故を起こす確率は・・・

ドライバーのうち 約５人に1人が事故を起こします （注1）

運転に注意することに加えて、クルマを少し控えて公共交通を利用することは事故リスク回避の方法のひとつかもしれません

出典：警察庁統計表（当事者別の事故件数）、一般財団法人自動車検査登録情報協会　自動車保有台数

注１　1-［1-（26.4 万件/6239 万人）］^50（クルマを使っている人の数を約 6,239 万人とした場合。計算式はかしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト京都を参照）